

三沢市立三沢病院 外科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5 年 三浦優惟

クリクラ I の外科の実習にて 7.1~7.26 までの 4 週間お世話になりました。三沢病院での 4 週間の外科実習は、私にとって本当に強烈な印象を残し、おそらく一生の宝物になると思います。初日は右も左もわからない状態で、何をすればよいのかも分からず、不安と緊張の入り混じった気持ちでスタートしました。しかし、先生方が根気強くご指導くださり、少しずつ外科の基本技術を習得することができました。カメラ持ちや術野づくり、鉤引き、縫合、標本作成といった基本的な手技を経験し、外科手技の面白さや難しさを肌で感じるすることができました。最初はぎこちなく、先生方からの指摘を受けることも多々ありましたが、何度も繰り返すうちに徐々にスムーズに動けるようになり、自分の成長を実感できました。特に、最終日にルンバールを経験させていただいたことは、自分にとって大きな挑戦であり、貴重な経験となりました。実際に手を動かして学ぶことの重要性を改めて実感しました。



また、手術だけでなく、空き時間には先生方が講義をしてくださり、実際の臨床に直結する知識を学ぶことができました。ドレーンの性状や輸液の種類、胃の再建術、ヘルニアの分類など、大学の講義では学びきれない実践的な内容を分かりやすく教えていただき、とても勉強になりました。

実習中は学ぶことが多く、慌ただしい日々でしたが、先生方や研修医の先生方はとても親切で、質問にも丁寧に答えてくださいました。また、一緒に実習を回っていた 6 年生の先輩方もとても優しく、分からないことを教えてください、心強い存在でした。医師としての知識や技術だけでなく、患者さんとの接し方やチーム医療の大切さについても学ぶことができました。

さらに実習中の休日には、米内山先生と研修医の先生と 3 人で 10km 走り、その後温泉に入り、お昼ご飯をご一緒させていただく機会がありました。勉強だけでなく、こうした時間を共に過ごせたことも、三沢病院での実習をより充実したものにしてくれました。また、送別会を 2 度も開いていただき、楽しい時間を過ごすことができました。先生方や研修医の先生方はとても気さくで、終始和やかな雰囲気の中で食事を楽しむことができました。これまでの実習の中で、一番楽しく、思い出に残る食事会だったと思います。

実習が終わり、大学病院での実習に戻った際、外科実習先の病院によって経験値に大きな差があることを実感しました。その中でも、三沢病院での経験値は圧倒的に多く、大学病院での手術でも率先して動くことができました。実習中に学んだ知識や技術を活かしながら、自信を持って行動できるようになったのは、三沢病院での経験があったからこそだと思います。この1か月間の実習が、自分にとって大きな成長の機会になったことを改めて感じました。

先生方や看護師の皆さん、6年生の先輩方など、たくさんの方に温かく接していただき、本当に充実した1か月でした。これほどまでに多くのことを学び、貴重な経験ができたのは、三沢病院の先生方やスタッフの皆さんのご指導のおかげです。感謝の気持ちを言葉で表すのは難しいですが、心からお礼を申し上げます。今後、今回の経験を活かし、さらに成長できるよう努力していきたいと思います。本当にありがとうございました。

実習期間：2024.7.1～2024.7.26